
4 5 3 1. 搬送指示情報登録

業務コード	業務名
P U O	搬送指示情報登録

1. 業務概要

通関業等から貨物取扱い、見本品一時持出し、検疫一時持出しまたは検査のための貨物取扱いの申込みがあった場合に保税蔵置場がその貨物の搬送指示を行う。

2. 入力者

保税蔵置場

3. 制限事項

1 業務で入力可能なAWB件数は、最大17件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 輸入貨物情報DBチェック

(A) 処理種別が「2：改装・仕分」の場合

- ①入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。
- ②入力者の管理する保税蔵置場に貨物が全量蔵置されていること。
- ③スプリット貨物の場合は、全量到着済であること。
- ④「貨物取扱登録（改装・仕分）（CHS）」業務による改装仕分けの仕分け親であり、「貨物取扱確認登録（改装・仕分）（CFS）」業務による貨物取扱確認が入力されていないこと。

(B) 処理種別が「2：改装・仕分」以外の場合

- ①入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。
- ②入力者の管理する保税蔵置場に貨物が蔵置されていること。
- ③取扱個数の入力があった場合は蔵置総個数以下であること。
- ④運送中でないこと。
- ⑤CHS業務により仕分けられた仕分け親でないこと。
- ⑥「許可・承認等情報登録（輸入保税）（PCH）」業務により貨物手作業移行の登録がされていないこと。
- ⑦MAWBでないこと。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 輸入貨物情報DB処理

入力者の管理する保税蔵置場に対してシステムにより蔵置料金計算を行う旨の設定がされている場合は、以下の処理を行う。

(A) カウンタ選定処理

(a) 取扱カウンタ

蔵置総重量に対応する取扱カウンタを処理対象とする。

(b) 横持ちカウンタ

蔵置総重量に対応する横持ちカウンタを処理対象とする。ただし、横持運搬料に運搬区分を適用している場合で、個数の入力がある場合は、その個数で蔵置総重量を按分した重量に対応する横持ちカウンタを処理対象とする。

なお、按分重量は10グラム位を四捨五入する。

(B) 貨物取扱回数加減算処理

(a) 処理種別が「1：内容点検」、「2：改装・仕分」、「3：見本品一時持出し」、「4：検疫一時持出し」及び「5：検査一時持出し」で、かつ支払種別が「1：CREDIT」の場合は、取扱回数に1を加算する。

また、時間外表示に入力がされた場合は、時間外取扱回数に1を加算する。

(b) 処理種別が「3：見本品一時持出し」、「4：検疫一時持出し」及び「5：検査一時持出し」で、かつ支払種別が「1：CREDIT」の場合で、横持に「Y」が入力された場合は、横持回数に1を加算する。

(c) 処理種別が「6：横持回数カウント」で、かつ支払種別が「1：CREDIT」の場合で、横持に入力がない場合は、横持回数に1を加算する。

(d) 処理種別が「6：横持回数カウント」で、かつ支払種別が「1：CREDIT」の場合で、横持に「A」～「J」のいずれかが入力された場合は、横持回数から1を減算する。

(C) 取扱重量区分カウンタ更新処理

後述の「取扱重量区分カウンタ更新処理」を行う。

(D) 検品室使用時間数加算処理

検品室使用時間数に入力された時間数をカウントアップする。

(E) 取扱手数料計算処理

支払種別が「2：CASH」または「3：FREE」の場合は、入力情報により取扱手数料料金を計算し、管理資料収集用データとして、請求書情報を登録する。

(3) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
搬送指示情報（輸入） A	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）システムに搬送指示情報を出力する旨の登録がされている （２）処理種別に「１：内容点検」、「３：見本品一時持出し」、「４：検疫一時持出し」が入力された	入力者
搬送指示情報（輸入） C	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）システムに搬送指示情報を出力する旨の登録がされている （２）処理種別に「２：改装・仕分」が入力された	入力者
搬送指示情報（輸入） D	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）システムに搬送指示情報を出力する旨の登録がされている （２）処理種別に「５：検査一時持出し」が入力された	入力者
請求書・領収書・計算書情報	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）入力者の管理する保税蔵置場に対してシステムにより蔵置料金計算を行う旨の設定がされている （２）支払種別に「２：CASH」または「３：FREE」が入力された	入力者

7. 特記事項

取扱重量区分カウンタ更新処理については、以下のとおりとする。

項 番	処 理 種 別	横持	時間外表示	使用時間	更 新 内 容	重 量 区 分 (処理対象カウンタ)
1	「1」 または 「2」		入力無	入力無	取扱重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分(A)～(J)のカウンタとする
2			「O」	入力無	時間外取扱重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分(A)～(J)のカウンタとする
3			入力無	入力有	①取扱重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算 ②検品室使用時間カウンタ+入力時間数	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分(A)～(J)のカウンタとする
4			「O」	入力有	①時間外取扱重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算 ②検品室使用時間カウンタ+入力時間数	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分(A)～(J)のカウンタとする
5	「3」 または 「4」 または 「5」	「N」	入力無		取扱重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分(A)～(J)のカウンタとする
6		「N」	「O」		時間外取扱重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分(A)～(J)のカウンタとする
7		「Y」	入力無		①取扱重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算 ②横持重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分(A)～(J)のカウンタとする
8		「Y」	「O」		①時間外取扱重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算 ②時間外横持重量区分(A)～(J)のいずれかのカウンタに1加算	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分(A)～(J)のカウンタとする

項 番	処理 種 別	横持	時間外表示	使用時間	更 新 内 容	重 量 区 分 (処理対象カウンタ)
9	「6」	入 力 無	入力無		横持重量区分（A）～（J）のいずれかのカウンタに1加算	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分（A）～（J）のカウンタとする
10		入 力 無	「O」		時間外横持重量区分（A）～（J）のいずれかのカウンタに1加算	加算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分（A）～（J）のカウンタとする
11		「A」 「B」 「C」 「D」 「E」 「F」 「G」 「H」 「I」 「J」	入力無		横持重量区分（A）～（J）のいずれかのカウンタより1減算	減算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分（A）～（J）のカウンタとする
12		「A」 「B」 「C」 「D」 「E」 「F」 「G」 「H」 「I」 「J」	「O」		時間外横持重量区分（A）～（J）のいずれかのカウンタより1減算	減算対象のカウンタは、貨物の蔵置総重量より保税蔵置場毎に設定された重量に対応する重量区分（A）～（J）のカウンタとする